

海外自治体幹部交流協力セミナー2022（シドニー事務所管内）

事業概要

1 テーマ

北九州市の環境国際協力ならびに観光資源・インバウンド誘致について

2 海外参加者数：4名

Damian Carter ダミアン・カーター 団長
オーストラリア、ストリーキーベイ行政区、最高経営責任者
Ashley Elizabeth McIntyre アシュリー・エリザベス・マッキンタイア
ニュージーランド、オークランド市、行政局民主主義・エンゲージメント部 市民・顧客参画チーム、プロジェクトリーダー
Qing Ye シン・イー
オーストラリア、バンバリー市、経済開発・国際事業課、経済開発担当・国際事業担当
Rey Manoto レイ・マノト
オーストラリア、キャンベルタウン市、キャンベルタウン市議会、議員

3 日程〔2023年2月5日（日）～14日（火）〕

月 日	予 定	宿泊地
2/5（日）	・参加者来日、オリエンテーション	東京都
2/6（月）	・東京セミナー（日本の地方自治講義） ・クレア主催歓迎レセプション	東京都
2/7（火）	・東京セミナー（都内施設視察）	東京都
2/8（水）	・受入団体（北九州市）へ移動 ・地方交流事業（北九州市副市長表敬、概要説明、市内施設視察） ・北九州市主催歓迎夕食会	北九州市
2/9（木）	・地方交流事業（講義、市内施設視察）	北九州市
2/10（金）	・地方交流事業（視察、文化体験、意見交換会） ・クレア主催帰国前夕食事会	北九州市
2/11（土）	・福岡県内観光	北九州市
2/12（日）	・東京都へ移動 ・自由行動	東京都
2/13（月）	・東京セミナー（都内施設視察）	東京都
2/14（火）	・参加者帰国	

4 実施内容

2/5 (日)

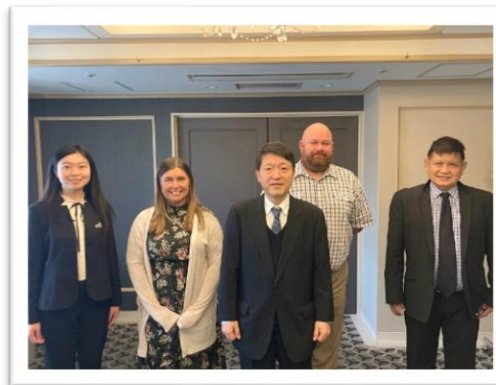
- 参加者来日

ホテルにてセミナー概要の説明や事務連絡を行った。

2/6 (月)

- 日本の地方自治に関する講義

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の木村俊介教授による講義を受講。質疑応答では、首長と行政担当者の関係性など日本の自治体の行政について質問があったほか、団長から、オーストラリアの自治体でも日本のように少子高齢化の問題を抱えているとの話があった。



- CLAIR 主催歓迎夕食会

CLAIRが主催する歓迎夕食会を開催し、参加者4名のほか、クレアから常務理事、クレアシドニー事務所赴任予定者等が参加した。参加者の出身自治体やセミナーテーマについて意見交換や記念品交換を行うなど、ゆったりと美味しい食事を楽しみながら、親睦を深めた。



2/7 (火)

- 午前中：小石川後樂園、根津神社【視察】

午前中は、景観が楽しめる小石川後樂園を訪問した。梅の花も少し咲きはじめ、見所が多く、参加者はたくさんの写真を取りながら、落ち着いた雰囲気を楽しみ、ゆっくりと散策した。

根津神社では、歴史ある本殿や、境内に立ち並ぶ赤い千本鳥居など、日本ならではの神社の厳かな雰囲気を味わうことができた。またお参りの作法を学びながらの参拝や、おみくじなどを楽しみながら穏やかな時間を過ごすことができた。



- 午後：谷中銀座商店街、ガスの科学館【視察】

午後は、谷中銀座商店街とガスの科学館を訪問した。

谷中銀座商店街は、昔ながらのお店が立ち並び、日本の日常の買い物風景を見ることができた。最後に階段の下で記念写真を撮った。

ガスの科学館では、参加者はガスなどのエネルギーや、日常生活と SDGs の関わりなどについて学んだ。職員から、日本が輸入する LNG のうち、最も多いのはオーストラリアからだという説明があり、参加者は大変興味深く熱心に聞き入っていた。その他、地震が起きた時のガスの対応などの説明もあった。



2/8 (水)

- 北九州市漫画ミュージアム【視察】

北九州市へ到着後、まず北九州市漫画ミュージアムを訪れた。漫画やアニメに関する様々な展示が設置されており、約 7 万冊の漫画が保管されているコーナーもあった。ポケモンや名探偵コナンなど参加者が既に知っている漫画もあり、様々な漫画の本を見ながら楽しい時間を過ごした。



- 講義(市政概要、環境・観光の取り組み紹介)

北九州市役所にて、北九州市国際政策課から市の概要について発表が行われた。北九州市の産業に関して、公害克服や環境国際協力、SDGs未来都市設定などの説明があった。参加者からは、「どのように観光行政やSDGsの事業を推進しているのか」など、いくつかの質問があった。また、参加者からは「北九州市の公害問題に対する対策が素晴らしくて印象的だ」というコメントがあった。



- **梅本副市長表敬訪問**

次に、梅本副市長への表敬が行われ、温かく迎えていただいた。梅本副市長からは、日本のエネルギー転換における水素分野への取組みの展望や、オーストラリアやニュージーランドとの今後の交流への期待などについて話があった。また、参加者は、「オーストラリアでも公害の克服や再生エネルギーについて今まさに議論されているところで、今後交流をしていきたい」と話した。最後に、記念品交換も行われた。



- **TOTOミュージアム【視察】**

表敬後に、TOTOミュージアムを訪問した。職員から、TOTOの歴史や商品の進化、現在海外で販売している商品の説明を受けた。TOTOのトイレは世界中良く知られているため、参加者も大変興味を示していた。トイレやお風呂などの水回りの製品の実物が多数展示され、またバイオ燃料で走る三輪バイクも展示されていた。



- **北九州市主催歓迎夕食会**

北九州市が主催する歓迎夕食会が市内ホテルで開催された。参加者含めて 13 名が出席した。和やかな雰囲気の中で、参加者は北九州市のおもてなしを受け、北九州市側出席者と歓談した。



2/9 (木)

● シャボン玉石けん社工場見学【視察】

シャボン玉石けん社工場を訪問し工場内を見学した。石けんを炊いている釜を近くで見たり、釜炊きの工程を学んだりした。代表者からの発表では、同社のサステナビリティの取り組みや石けん系泡消火剤の特徴などの説明があった。また、インドネシアの消火実験で同社の石けん系泡消火剤を利用した事例について説明を受けた。参加者からは「オーストラリアでも森林火災が多く発生するため、消火活動の役に立つかもしれない」という意見があった。

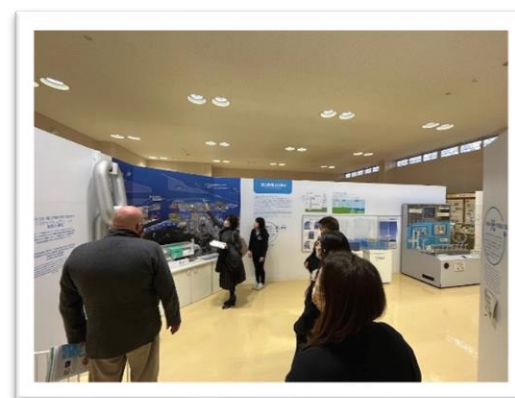


● 北九州市エコタウンセンター、西日本オートリサイクル、風力発電事業等【講義・視察】

北九州市エコタウンセンターを訪問し、センター職員から、エコタウンセンターの取り組み（リサイクルや次世代エネルギーなど）について説明を受けた。センター内には、市内の環境関連企業や風力発電所の仕組みがパネルや展示品などで紹介されていた。

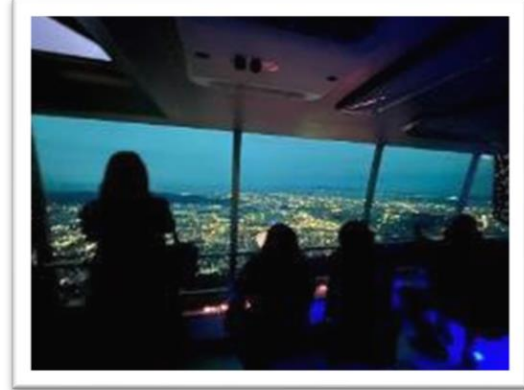
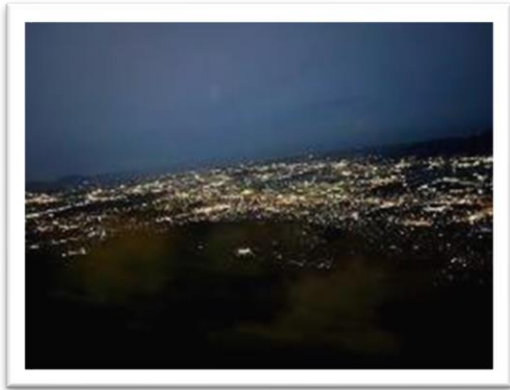
また、西日本オートリサイクル株式会社への訪問では、自動車の解体や取り出した車体の圧縮工程などの現場を見学した。参加者は、同社の質の高いリサイクルの取り組みについて、関心を示していた。

さらに、海岸に並ぶ風力発電機を見学した。風力発電機の真下まで近づいて見ることができ、参加者はその迫力に圧倒されていた。また、担当者から洋上風力発電のプロジェクトについて紹介があり、北九州市の地域エネルギー政策についてさらに深く学ぶことができた。



- 皿倉山ケーブルカー 皿倉山展望台【視察】

夕方には、ケーブルカーとスロープカーを乗り継ぎながら、皿倉山展望台を訪れた。この展望台からの夜景は新日本三大夜景に選出されており、山頂から北九州市、下関市を一望できる。参加者からは、眺めがとても素晴らしかったという感想があった。



2/10 (金)

- 唐戸地区・門司港地区散策（赤間神宮、唐戸市場、門司港駅）

【視察】

赤間神宮や唐戸市場を訪問した。赤間神宮では、北九州市の観光分野の担当者から神社の歴史について説明を受けた。あいにくの雨だったが、外観の赤い門が、鮮やかで神聖な雰囲気だった。

次に、唐戸市場へ徒歩で向かい市場内を見学した。市場内は、大勢の観光客でにぎわい、美味しそうなお寿司や海鮮丼、フグの唐揚げやフグ汁など様々な料理を販売する店が軒を連ねていた。参加者は、お寿司やフグの刺身を食べ、市場の雰囲気を味わった。その後、船に乗り、門司港に向かった。門司港周辺はレトロなレンガ造りの建造物などの街並みを見学し、国の重要文化財である門司港駅の前で参加者の記念写真を撮った。



● 意見交換会

午後は、北九州市役所にて帰国前意見交換会が開かれた。北九州市より10名以上の幹部や職員が出席する中、参加者は、3日間の振り返りを行った。参加者は、北九州市の公害克服の取組や、100万人近い人口でも渋滞がなく、交通が発達していること、皿倉山の夜景などが印象的だったことを話すとともに、本セミナーで得た北九州市のSDGsへの取組についての知見を業務に活かしたいという話もあった。

意見交換では、参加者から北九州市に対し、SDGsの取組の市民への啓発や市民参加について質問があり、北九州市は、学校教育にSDGs教育を取り入れ、公害克服の取組等の北九州市のグッドプラクティスの事例集を教材に取り入れる等の取組を紹介した。

また、観光分野においても、「どのように北九州市は産業の街から観光の街に変えられたのか」、「どのように北九州市の魅力を紹介しているのか」などの質問があり、北九州市は自然や、美味しい食べ物があることなど多面的に楽しめる街としてPRをしていると話した。

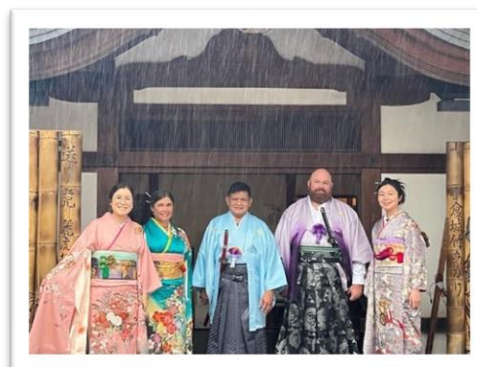
本意見交換会では、その他にも様々な意見が交わされ、大変有意義な会となった。

最後に、サプライズで北九州市のゆるキャラ「ていたん」が登場し、参加者はとても驚き、喜んだ。



● 日本文化体験：着付け体験・茶道体験

小倉城庭園を訪れ、参加者は着付けをした後、茶道を体験した。先生から茶道の作法や全体の茶道の流れの説明を受け、参加者は、全ての動きに流れと意味があると学んだ。最後に、参加者一人ずつお茶をたてる体験をし、最後まで満喫することができた。



- **CLAIR主催帰国前夕食会、小倉城ライトアップ見学**

最後に、CLAIR が主催する帰国前夕食会を小倉城庭園書院棟で開催した。北九州市幹部職員が出席し、団長は3日間の北九州でのセミナーを振り返りながら北九州市の皆さんに感謝の気持ちを伝えた。参加者は楽しく北九州市幹部職員と歓談し、活気のある夕食会だった。

夕食会後には、ライトアップされた小倉城を見学した。敷地内にはカラフルな和傘がディスプレイされ、ライトアップされた小倉城を背景にとっても幻想的な風景だった。城内では小倉城の歴史についての展示を見学したり、サプライズで登場した小倉城武将隊と写真を撮るなど、大変楽しく有意義な時間を過ごした。また、小倉城の最上階の天守閣からの景色もきれいで見応えがあった。



2/11 (土)

- **太宰府天満宮・観光（紀元祭、周辺散策等）**

学問の神様が祀られている太宰府天満宮を訪問した。祝日だったためか、大勢の参拝客でにぎわっていた。参加者は、敷地内を散策したり、御神牛像を撫でたり、広場で開催されていた猿まわしを見学するなど日本の文化を楽しんだ。昼食では、太宰府天満宮の名物「梅ヶ枝餅」を食べるなど、参加者同士和やかな雰囲気でも食事を楽しんだ。最後に、参道を散策し、日本のお土産物等を楽しんだ。



2/12 (日)

- 北九州市から東京へ戻り、午後は自由行動。

2/13 (月)

- **日本科学未来館【視察】**

シドニーセミナーの最終日は、日本科学未来館を訪れた。広々した館内には、日本の化学や宇宙に関する展示があり、参加者はロボット技術やロケット技術が印象的だったようで興味深く見学をしていた。また、ドームシアターで『INHERIT ～はやぶさ2・宙への夢と挑戦をのせて～』の映像作品を鑑賞し、日本の小惑星探査機について学んだ。館内に設置されていた大きな地球儀であるジオ・コスモスは圧巻で、ジオスコープのコーナーでは参加者はタッチパネルを操作しながら地球観測データを興味深く見ていた。

